令和6年度
学校評価アンケートの結果について

令和7年3月
渋谷区立西原小学校

昨年１２月に保護者・地域の皆様にお願いしました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせします。
ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。
（回答数444 回答率　約72%）

質問項目

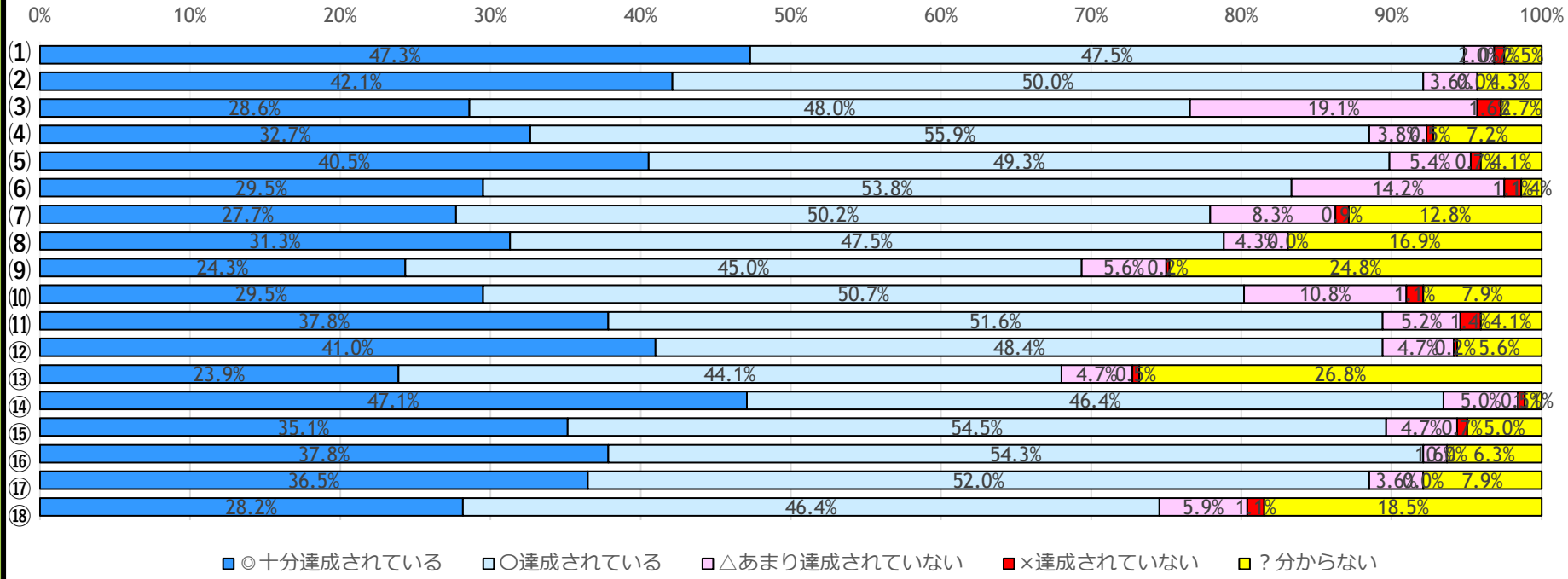
	アンケート質問項目	具体的な教育活動や評価対象などの例
西原小学校独自の項目について	（1）学校で、子供たちが明るく、楽しく生活していますか。	・子供たち同士の関わり及び教員とのかかわり ・公開日や行事での取組 ・お子さんの日頃の様子　など
	（2）学校は、基本的な生活習慣（時間や決まりを守ること）を育む教育活動を行っていますか。	・各学級での持ち物や時間割の連絡や指導 ・チャイム着席、遅刻登校への指導 ・家庭との連携による生活指導　など
	（3）学校及び家庭において、お子さんは、すすんであいさつをしていますか。	・学校内で見られる子供たちの様子 ・「あいさつ当番」などの学級、学年、学校全体でのあいさつ指導 ・お子さんの日頃の様子　など
	（4）学校は、思いやりの心を育む教育活動をしていますか。	・温かい雰囲気の学校、学級づくり（「あいさつ運動」「オアシスサ運動」など） ・道徳の授業（道徳授業地区公開講座等） ・人権を大切にした教育活動　など
	（5）学校は、健やかな体を育む教育活動を推進していますか。	・「なわとび月間」「マラソン月間」など体力向上の取組 ・「歯みがきカレンダー」「発育測定時の保健指導」など ・「パシャパシャタイム」「栄養士による食育指導」など
新たな学びの実現（授業DX）について	（6）お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。	・お子さんの日頃の様子 ・学習で製作したり取り組んだりした成果物 ・家庭学習等への取り組み　など
	（7）学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。	・算数少人数指導による習熟度別コースでの指導 ・デジタル教材（インタラクティブスタディ）やミライシード（ドリルパーク）の活用 ・特別支援教室「いちょう」やスクールカウンセラーとの連携　など
	（8）学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。	・動画や写真等の活用や実物の提示などの工夫 ・ペア学習やグループ学習の活用 ・Microsoft365（Teams、PowerPoint、Excel など）やミライシード（オクリンク、ムーブノート）などを活用した意見交換や情報共有 ・地域人材や専門家などのゲストティーチャーを招いた対面の機会　など
	（9）学校は、「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。	・３年生以上の総合的な学習の時間での「シブヤ未来科」 3年「パワーポイントを使って自己紹介をしよう（4･5月）」 「外国について調べて交流しよう（6・7月）」 「安心・安全なまちしぶや（9～1月）」 4年「共に生きる（パラスポーツ）（4～7月）」 「御殿場探検隊（9～11月）」 「今の自分からこれからの自分へ（12～3月）」 5年「那須について調べよう（5～7月）」 「小さい子たちや外国の人と交流しよう（7～10月）」 「環境について考えよう～減らそう！食品ロス～（11～1月）」 6年「日光について調べよう（5～6月）」 「今世界の人々のために（7～10月）」 「未来の自分を渋谷で探す（11～3月）」 ・1～2年生での町探検や町の施設訪問（商店街や公共施設）等、地域と触れ合い地域のことを学ぶ学習　など
	（10）学校は、前出の質問(1)から(4)の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。	・デジタル教科書、Teams、ミライシードなどのデジタル教材やカメラアプリ等の活用 ・タブレット持ち帰りでの活用（宿題の配信、連絡等） ・情報モラル教育、欠席等児童との連絡や学習指導での活用　など

安心・安全に挑戦できる環境について	(11) お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。	・温かい雰囲気の学校・学級づくり（「あいさつ運動」「オアシスサ運動」など） ・教室環境や施設の整備、補修 ・欠席時のオンライン学習対応　など
	(12) 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。	・お子さんや保護者からの相談に対する教職員の姿勢 ・相談への対応や返答の内容、コミュニケーション ・ご連絡に対するレスポンス　など
	(13) 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。	・「西原小学校いじめ防止基本方針（R６.３改訂）」のホームページ掲載 ・いじめに関するアンケートの実施（全学年、年間４回）と聞き取りや相談対応 ・学校生活アンケート（４年生以上、年間６回）による状況の把握 ・いじめ防止推進委員会の毎月の実施、生活指導夕会の毎週の実施、学年や学校全体での組織的対応　など
校務DXへの取組について	(14) 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページやHome＆Schoolなどを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。	・「学校だより」「保護者会資料」などの学校や学級からの配付物や連絡 ・欠席や遅刻、早退等の連絡や返信 ・各種アンケートのデジタル化 ・校外学習時の児童の様子や帰校時刻の報告　など
家庭・地域との協働について	(15) 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。	・学校ホームページへの学校経営方針の掲載 ・学校ホームページやHome＆Schoolでの授業や学校生活の紹介 ・学校だより等での教育方針の周知 ・保護者会や学校運営協議会での説明　など
	(16) 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。	・PTAとの連携活動（各行事での保護者による支援活動、通学路安全点検、児童向けイベントの実施、校庭開放活動等） ・コミュニティスクールとしての学校運営協議会の定期的な開催 ・西原地区委員会や地区体育会、施設開放委員会、避難所運営委員会との連携行事等の実施 ・行事等でのアンケート実施と結果分析や共有　など
特色ある教育活動について	(17) 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。	・総合的な学習の時間や生活科（探究的な学び）を重点とした教職員による研究活動 ・たてわり班活動や剣玉タイム、児童集会等の異学年交流活動 ・JICAとの国際交流会実施やスポーツセンターでのクラブ活動等、地域施設の活用 ・商店街でのパレード等の鼓笛隊活動　など
	(18) 学校は、デジタル・シティズンシップ(※)が身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。	・アプリやインターネットの活用の仕方 ・情報モラル教育や個人情報の保護への意識の指導 ・肖像権やプライバシーなどの人権意識の醸成 ・ＩＣＴ活用に関する学年に応じた指導

※DX＝「デジタル・トランスフォーメーション」の略

※「デジタル・シティズンシップ」＝デジタル技術の適切な利用を通じて、自ら判断して、社会に積極的に関与し、参加する能力

R6教育活動アンケート結果（保護者）回答数444/619



※(1)～ (5)は、令和6年度より本校独自項目。
(6)～(18)は、渋谷区指定項目。

(1)学校で、子供たちが明るく、楽しく生活していますか。
(2)学校は、基本的な生活習慣を育む教育活動を行っていますか。
(3)学校及び家庭において、お子さんは、すすんであいさつをしていますか。
(4)学校は、思いやりの心を育む教育活動をしていますか。
(5)学校は、健やかな体を育む教育活動を推進していますか。
(6)お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。
(7)学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。
(8)学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。
(9)学校は、「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。
(10)学校は、前出の質問6～9の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。
(11)お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。
(12)学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。
(13)学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。
(14)学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページやHome＆Schoolなどを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。
(15)学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。
(16)学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。
(17)学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。
(18)学校は、デジタル・シティズンシップが身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

集計結果から ※（　）内は令和５年度　数値は肯定的意見の合計

◎「(1)明るく楽しい生活している」約95%◎「(2)基本的生活習慣を育んでいる」約92%
◎「(3)思いやりの心を育む教育」約88%◎「(4)健やかな体を育む教育活動」約90%
◎「⑫子供や保護者に誠実に対応」約89%（約83%）
◎「⑰学校の特色が表れている」約88%（約69%）
〇「(10)タブレット端末を効果的に」約80%（約65%）
〇「(6)自ら進んで学習に取り組んでいる」約83%（約79%）
▲「(3)学校や家庭ですすんであいさつ」約76%
▲「(9)シブヤ未来科を通して自ら課題設定・発表」約69%(約55%)
▲「⑬いじめ対応の未然防止等」 約68%（約55%）

肯定的評価（十分達成されている、達成されている）が80%以上となった質問は、3,7,9,13,18以外の13項目でした。1.2.5は90%を超えております。令和6年度より本校独自に追加した質問項目に関する「知」「徳」「体」の学びは学校生活の重要な基盤であると考えますので、教職員一同、引き続き努力してまいります。

また、9の「シブヤ未来科」や10の「タブレット活用」、17の「学校の特色」についての項目は、昨年度より肯定的な割合が10%～20%向上し、よく分からないとの割合も大幅に減少しました。これは、学校全体で学校HPや公開授業での紹介等による広報活動によるものとも考えられますが、今年度より総合的な学習の時間を増やしたことにより、西原地域をはじめ、地域社会に関すること等を「自分ごと」として捉えるようになり、ご家庭や地域の方々に相談したり、依頼したりする等、ICTの活用とともに学びの幅が広がってきたことも一つの要因として捉えております。

課題についてです。3の「あいさつ」については、まだ改善の余地があります。本校では、教員やあいさつ当番の児童が毎朝交代で昇降口に立ち、あいさつの声がけを行っています。あいさつの習慣には個人差が大きい様子も見受けられます。西原小の児童全員が、すすんであいさつする力を高めていけるよう、様々な場面で指導を続けてまいります。また、13の「いじめ対応の未然防止」についてですが、個人情報等、配慮を要する内容であることから、学校の取組が分かりにくい面があります。いじめ防止の学校での取組を紹介していくとともに、いじめの芽を早期に摘み取る手立ての強化や学級・学年経営の充実化をより図ってまいります。このほかの質問項目についても、全教職員で共有し、各会議で検討を行いながら改善を進めるとともに、学校運営協議会（コミュニティスクール）の会議でも検討し、次年度の教育活動に生かしてまいります。

自由意見より

意見が多くあったものなど、代表的なものについて説明いたします。

教育活動について

タブレットを子供たちがよく活用しているとの声がある反面、お子さんがうまく活用できていないことや、保護者がより制限をかけられるようにしてほしいとの意見がいくつかありました。

タブレットの活用は渋谷区の重要施策でもあり、本校でも積極的なICT活用を進めています。児童主体の探究的な学びを進めていくために、児童が身近な道具としてタブレットを使いながら、学習の効果を高められるよう、今後も指導を工夫していきます。渋谷区はより学びやすい学習ソフトを導入する予定で、今現在モデル使用を全学年で行っています。より平易に活用できるよう対策を進めていきます。また、使用制限等、管理についても保護者の皆様により情報提供を行っていきます。

シブヤ未来科の学習の様子については、今後学校公開や学校HP等で紹介していきます。また、保護者会を学校からの情報伝達とともに、保護者同士でより情報交換をしやすい場を設定し、学校の様子の見える化をより進めてまいります。

児童の生活面について

お子さんが帰宅後、学校での楽しい話をしてくれますと好意的なご意見がありますが、友達との関係で悩んでいる、学校へより行きやすくなる支援をお願いしたいとの声もいくつかありました。

一クラスに児童が約30名いることから、担任による支援の手が全ての児童に届くことは難しい面はあります。しかし、西原小学校としては、副担任制度や5・6年生の教科担任制度、特別支援教室「いちょう教室」拠点校を生かしながら、一人一人の困り感に寄り添いながら日々、教育を進めております。また、校内のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや渋谷区教育センター職員と児童及び保護者の方々との面談・相談活動も積極的に行っています。保護者の皆様の声を聴きながら学級経営・学年経営の充実と個別最適な学びを行ってまいります。

また、下校時間より下校が遅くなる面が見られるとの声がありました。下校時間より遅くなる際は担任から連絡を確実に行うとともに、子供たちには通学路を守って適切に帰るよう、丁寧な指導を行っていきます。

情報の伝達について

学校からの情報が紙面ではなくHome＆Schoolのみのことが増えたため、大切な行事等についての内容を見落としてしまうとの声がありました。また、Home＆Schoolの様々な情報が日々多くあることから、未読になり、分かりにくいとの声もありました。渋谷区としては、配布書類だけではなく、学校の職務に関する内容の電子化が進められています。電子化を進める上で、より保護者の方々に分かりやすい内容にしていけるよう区と相談しながら進めていきます。今年の2月より学校HPがリニューアルし、スマートフォンでも見やすくなりました。学校HPも活用し、重要な情報は紙面と併用して適切かつ平易な情報伝達を行ってまいります。